

法 学 第 5 8 号

平成 30 年 4 月 17 日

各私立高等学校長様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

「対日理解促進交流プログラム」実施に際しての協力依頼について
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

【担当】私学振興担当 竹内

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

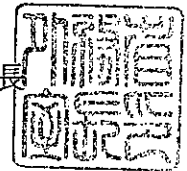
報文交流合第 388 号

平成30年4月6日

関 係 各 位

外務省大臣官房文化交流・海外広報課

対日理解促進交流室長



「対日理解促進交流プログラム」実施に際しての協力
依頼について

外務省では、平成27年度から開始しております標記事業を平成30年度についても継続し、アジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で推進することとなりました。（事業概要別添）

本事業は、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するものであり、人的交流を通じ、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策に関する理解促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘することで、日本の外交基盤を拡充し、さらに被招へい者・被派遣者に、日本の外交姿勢や魅力等を積極的に発信してもらい、国際社会における対日イメージの向上や日本への持続的な関心を増進させることを目指しており、また、招へい事業においては、被招へい国・地域側の希望も踏まえ、学校訪問やホームステイ等の交流事業も盛り込んでいくことで、参加者同士の相互理解を深めていきたいと考えております。

具体的な各国・地域との事業は、本件予算の拠出先である日本国内又は国外にある国際機関等による直接実施、又は実施団体への委託を通じて行われる予定です。

つきましては、管轄市区町村の教育委員会及び管轄下の高等学校に、
の概要につき御周知いただくとともに、国際機関等及び実施団体から、



に、具体的な学生受入れの可能性や交流行事への協力の打診等を行う予定ですので、御協力賜るよう呼びかけていただきたく、お力添えの程、宜しく申し上げます。

なお、派遣事業への参加者募集につきましては、各国の具体的な事業日程が確定次第、国際機関等及び実施団体が公募等を行う予定です。

本件協力依頼は、別途、当省から都道府県・政令指定都市国際交流主管部門に対しても行う予定です。

付属添付

本信送付先 都道府県・政令指定都市教育委員会指導事務主管課長
都道府県知事部局私立学校主管課長
各国立大学法人附属高等学校長

本信写送付先 文部科学省大臣官房国際課長

1. 本件お問い合わせ先

(1) 対日理解促進交流プログラム全体

大臣官房 対日理解促進交流室

住所：100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1

TEL：03-5501-8143

人物交流担当者

(2) JENESYS 2018 (ASEAN諸国, 東ティモール)

アジア大洋州局 地域政策課 地域協力室

TEL：03-5501-8252

人物交流担当者

(3) JENESYS 2018 (韓国)

アジア大洋州局 北東アジア課

TEL：03-5501-8259

人物交流担当者

(4) JENESYS 2018 (中国, モンゴル, 台湾)

アジア大洋州局 中国・モンゴル第一課

TEL：03-5501-8261

人物交流担当者

(5) JENESYS 2018 (豪州, ニュージーランド, 太平洋島嶼国)

アジア大洋州局 大洋州課

TEL：03-5501-8269

人物交流担当者

(6) JENESYS 2018 (SAARC諸国)

アジア大洋州局南部アジア部 南西アジア課

TEL：03-5501-8267

人物交流担当者

(7) KAKEHASHI Project (米国, カナダ)

北米局 北米第一課

TEL：03-5501-8276

人物交流担当者

(8) MIRAI Programme (欧州)

欧州局 政策課

TEL：03-5501-8295

人物交流担当者

(9) Juntos!! (中南米)

中南米局 中米カリブ課

TEL：03-5501-8288

人物交流担当者

2. 地方連携関係全般お問い合わせ先

大臣官房 総務課 地方連携推進室

TEL：03-5501-8491

対日理解促進交流プログラム

(Japan's Friendship Ties programs)

目的

日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また、日本の外交姿勢や魅力等について被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充する。

対日理解の促進・親日派・知日派の発掘

対外発信の強化

外交基盤の拡充

概要

対象者： 招へい： 高校生～社会人等 / 派遣： 高校生～大学院生等

期間： 10日間程度

対象地域： 招へい： アジア大洋州、北米、欧州、中南米 / 派遣： アジア大洋州、北米、中南米
地域別名称： JENESYS2018(アジア大洋州); KAKEHASHI Project(北米)

MIRAI Program(欧州), JUNTOS!!(中南米)

規模： 約26.2億円、約5,300人(平成30年度当初予算)

事業の実施形態

日本政府(事業方針に沿って推進)
(拠出金支出)

国際機関等(事業の実施団体を選定・委託)
(拠出金管理)

実施団体等
(プログラムの企画・実施)